

学生自信の授業に対する積極的な取組み(設問3))や理解度を向上させる(設問9))ことも総合評価の改善に結びつくと考えられる。各教員および学科の地道な改善努力の継続が重要であると考えられる。

【管理栄養学科】

<平成 25 年度前期 授業評価アンケート 集計結果分析(管理栄養学科)>

管理栄養学科については、昨年の授業評価アンケートの結果と比較しながら、反省点を分析した。

(アンケート集計結果(平均値):()内は平成 24 年度前期結果)

設問 1)私はこの授業によく出席した 4.88(4.78)

設問 2)私は授業内容について質問や発言をした 3.11(2.81)

設問 3)私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした) 3.71(3.38)

設問 4)教員の声は聞き取りやすかった 4.38(4.28)

設問 5)教員の板書(または PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)4.14(3.87)

設問 6)教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた 4.70(4.55)

設問 7)教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた 4.24(4.03)

設問 8)教員は熱意を持って授業をしていた 4.49(4.38)

設問 9)私はこの授業内容を理解できた 4.10(3.69)

設問 10)私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役立つと感じた 4.59(4.44)

設問 11)私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた 4.32(4.10)

- ・ 今回のアンケートの平均値としては、前回のアンケート集計結果(平成 24 年度前期)からは全ての設問項目において、平均値が上昇した。本学科の各教員一人ひとりが授業評価アンケートの結果をもとに、授業改善がなされた結果が出ていると考えられる。
- ・
- ・ 設問2)や3)からは、学生の授業前後あるいは授業中の取組みは、とくに改善が認められ、0.3 ポイント以上の上昇が認められた。このことは、授業に対する学生の学習意識への導きが的確に行われていることと考えられる。
- ・
- ・ 設問5)については 0.27 ポイントの上昇が認められ、教員の授業に対する取組みが上がり、授業の質も向上しているものと思われる。このことは設問4)、6)～8)についても同様のことが言えると思われる。
- ・
- ・ これらの結果を踏まえ、設問9)が 0.4 ポイント以上上昇し、授業の理解度が上がり、十分な授業が行われていると考えられる。さらには設問 10)、11)では管理栄養士養成である本学科では、「将来役に立つ」と感じ、満足度も高いと状況となっている。
- ・
- ・ 学科全体で反省点をまとめると今回のような良好な結果となっているが、本学科教員一人ひとりが自分自身の科目での結果を振り返り、反省点をしっかり意識した授業を行うことが大変重要である。とくに設問2)の点数が他より低いため、授業中の学生の質問できる環境作りに向けた対策が必要であると考えられる。

<平成 25 年度後期 授業評価アンケート 集計結果分析(管理栄養学科)>

管理栄養学科については、昨年の授業評価アンケートの結果と比較しながら、反省点を分析した。

(アンケート集計結果(平均値):()内は平成 24 年度前期結果)

設問 1) 私はこの授業によく出席した 4.83(4.84)

設問 2) 私は授業内容について質問や発言をした 3.01(3.33)

設問 3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした) 3.54(3.74)

設問 4) 教員の声は聞き取りやすかった 4.40(4.30)

設問 5) 教員の板書(または PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった) 4.27(3.98)

設問 6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた 4.64(4.55)

設問 7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた 4.36(4.20)

設問 8) 教員は熱意を持って授業をしていた 4.52(4.45)

設問 9) 私はこの授業内容を理解できた 4.08(4.08)

設問 10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役立つと感じた 4.62(4.53)

設問 11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた 4.36(4.27)

- ・ 今回のアンケートの平均値としては、前回のアンケート集計結果(平成 24 年度後期)からは殆どの設問項目において、平均値が上昇した。本学科の各教員一人ひとりが授業評価アンケートの結果をもとに、授業改善がなされた結果が出ていると考えられる。多少平均値として下がった点もある為、後のように分析する。
- ・
- ・ 設問 1) の出席に関してはとても良いが、設問 2) や 3) の結果からは、多少下がっており、学生の授業前後あるいは授業中の取組みは、とくに改善が必要であり、02 ポイント以上の下降が認められた。このことは、さきの前期の結果はよかったものの、授業に対する学生の学習意識への導きの鈍化があるものと考えられる。
- ・
- ・ 設問 5) については約 0.3 ポイントの上昇が認められ、前期から比較しても 0.1 ポイント以上上昇しており、教員の授業に対する取組みが上がり、授業の質も向上しているものと思われる。このことは設問 4)、6)、8) についても同様のことが言えると思われる。
- ・
- ・ これらの結果を踏まえ、設問 9) は昨年後期から同等の値を推移しており、授業の理解度が上がり、十分な授業が行われていると考えられる。さらには設問 10)、11) では値の上昇あるいは高止まりとなり、管理栄養士養成である本学科では、「将来役に立つ」と感じ、満足度も高いと状況となっている。
- ・
- ・ 学科全体で反省点をまとめると今回のような良好な結果となっているが、昨年前期からするとその後期、本年度前期並びに後期と、本学科教員一人ひとりが自分自身の科目での結果を振り返り、反省点をしっかり意識した授業を行うことが大変重要である。とくに設問 2) の点数が他より低いため、授業中の学生の質問で
きる環境作りに向けた対策が必要であると考えられる。